

森の日事業は、岩泉町の林業関係の団体のほか、行政や教育関係の方々、また小本浜漁業共同組合の方々も参加される大規模なイベントでした。森を守ることが海を美しく守ることにつながるという考えのもと皆で森を守るという考え方にとても感銘を受けました。

昭島市の代表として私たち21名も参加致しました。下草刈りは暑い中斜面での作業で、てこずる場面もありましたが、皆で力を合わせて作業したあとにはすっきりと開けた斜面がひろがっていました。作業が終わった後は、地元の方々が炊き出しして下さったきのこ汁や鮭汁を頂きました。関係者で力を合わせて森を守る活動は、昭島市として参加協力を是非続けていくべきことだと感じました。今回の公募でも日ごろからフィールドワークに興味がある方が多く集まりましたが、あまりこのような活動をしたことがない方も是非参加してみて頂きたいと思います。

下草刈りの作業の後は、参加した子供たちに

対して、ツリークライミングや、薪割りなどの自然体験イベントが行われ、楽しみながら自然と触れ合っていました。

私もツリークライミングの体験をしましたが、ロープを手繰り寄せて高い木の上に上ると爽快でわくわくすることを経験しました。子供にとっても自然体験をさせるのはとても良いことだと思うので、岩泉町でのノウハウを教えてください、昭島市でもこのような自然体験イベントを開催できると良いと思います。

宿泊先では岩泉町の名産品（ヨーグルト、牛乳、短角牛肉など）をおいしく頂きましたが昭島市でも購入できるようなので、小本地区や宮古地区のような被災地の復興支援の意味でも今後も購入したいと思います。

今回の昭島市環境連携交流事業では、様々な方にお世話になりましたことを感謝致します。

今後もなるべく多くの方が岩泉町との交流、森林保護活動、復興支援に参加できるようになることを願っています。